

【第31回10Rクラス全日本選手権大会参戦記】

2016年06月11,12日

10R全日本大会、今年は他の大会との日程調整もあって、連休ではない土日開催となりました。そのため参加者数が心配だったのですが、なんとか7名の参加があり開催支部としては一安心でした。殊に丹野池からの長谷川選手、同じ西日本支部とはいえ、福岡からの渡辺選手のお二人には 関係者一同大いに力づけられました。初日は、1から2mといった微風。二日目も同等という終始微風の下、9レースの熱戦が展開されました。おまけに細かいシフト、思いもよらない方角からのブロー等に悩まされましたが条件は皆同じです。個人的にはホームグラウンド、毎月レースしていて、この池の風は解っているつもりですが、やはり風は魔物。ある時は味方でも、次の場面では突き放されます。「これがレースだ」とわかっている、レースが終わるたびにストレスが溜まるこの大会でした。地の利のおかげで、優勝はできましたが、トップは3回のみ、2位の平尾さんが同じ3回、4位の渡辺さんが一回、5位の池尻さんが2回という誰もがトップを狙える、終わってみれば接戦の面白い大会でした。今回、RMハルに10Rリグをセットした艇6艇に、本格的な10R1艇の7艇でしたが、微風レースでは、甲乙なしに同条件でのレースだったと思います。RMのAリグに比べると10Rのリグは、50%近く大きいので微風時の性能スピードが大幅にアップ、とても面白いレースが出来ます。RMをお持ちの方々には10Rリグを提供させていただきます。ご連絡お待ちしております。来年は良い風と同時に、参加艇数も二桁10艇以上で迫力あるレースを期待したいものです。お陰様で2012年から運良く今年で5連覇達成出来ました。今の艇の長所も短所も少しずつ分かってきた感じです。さらに性能の良い艇に仕上げ6連覇を目指そうと思っています。